

## 2020 年度事業 進捗報告書（実行団体）

- 提出日 : 2022年9月30日
- 事業名 : ママドラフト会議 for Kyushu Island (九州・山口・沖縄広域圏)
- 資金分配団体 : 九州地域ソーシャルビジネス・コンソーシアム（公益財団法人九州経済調査協会、一般社団法人ユヌス・ジャパン）
- 実行団体 : Work Step 株式会社

### ① 実績値

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
特設サイトのアクセス数が 300 万を超える	①SNS (LINE/Instagram/Facebook) 登録者=就労希望者数 ②HP アクセス数	①登録者数 1,500人 ②アクセス数 300万	2024年 3月	福岡じょしごとメディアが2月8日開設、目標値に向けて会員、アクセスも増えている	2
ママドラフト会議登壇女性の就労決定率が8割を超える	①参加企業の女性人財の期待度 (PJ 参加・採用満足度) を上げる ②ネットワーク参加企業(求人・ママドラ参加など)	①3ポイントアップ ②500社	2024年3月	コロナ禍でどのようなイベントが出来るか、思案中	3
Work Step club を経て正社員へのステップアップ者が3年度目に30名を超える	①WorkStep club の参加者数 ②WorkStep club 参加者のキャリア相談対応数 ③正社員ステップアップ者数	①60 ②40 ③30	①2022年12月 ②2024年3月 ③2024年3月	まずは12月の実施に向けて計画中	2

企業の採用フィーを自治体負担とするモデルの確立	①自治体交渉数 ②自治体予算化数 ③自治体負担モデル稼働数	①10 ②3 ③1	①2022年8月 ②2023年4月 ③2023年4月	8月からの稼働に向けて計画中	3
キャリアコンシェルジュが各県10名超で活動継続	①養成講座（オンデマンド受講を含む）開催 ②養成講座参加者数 ③ドラフト会議登壇者伴走件数 ④伴走経験者の従事満足度（認知度アップ）	①年に2回開催 ②100 ③120 ④7割満足	①2022年3月 ②2023年3月 ③2023年3月 ④2023年3月	①については6月に予定通り実施。 ②～④に向けては計画中	3
テレワークセンターを経たリスキル人材の紹介モデルが事業化	①リスキル人材の評価ツール ②リスキル人材の登録者数 ③リスキル人材を経ての再就職者数	①ツール3種の完成 ②30 ③10	①2022年3月 ②2023年3月 ③2024年3月	2022年内にまずは①から稼働出来るよう準備中	3
キャリアコンシェルジュの中から、女性のキャリア支援を事業として取り組む起業家が3エリア超で誕生	①復職女性支援講座の連携実施数 ②復職女性支援講座のキャリアコンシェルジュによる主催実施数	①3件 ②1件	①2023年3月 ②2024年3月	①②を通してすでに1名企業	1

\*進捗状況：1 計画より進んでいる、2 計画どおり進んでいる、3 計画より遅れている、4 その他

## ② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 就労決定者数 100 名 <input type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの内容 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの表現 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの指標 <input checked="" type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値
5.新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
緊急事態宣言化等ではスタッフの安全確保でリアル訪問が必須な取材等は延期となったが、オンラインで対応できるものを先に準備するなどの臨機応変な対応をした。

## ② 広報（※任意）

### 1. メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）

西日本新聞（WEB版） 毎日新聞（3月23日朝刊） ラジオ「村山由香里の Cross Walk」出演（4月6日） 朝日新聞（9月23日）

### 2.広報制作物等

・求人メディア「福岡じょしごと」の立ち上げ、広報としてインスタを発信。紹介リーフレットの発行。及び「じょしごと」の商標権を設定。

・企業サイトをリニューアルし、事業の理解が分かりやすく発信できるようになった

### 3.報告書等

## 2020 年度事業 中間評価報告書（実行団体）

### 評価実施体制

内部／外部	評価担当分野	氏名	団体・役職
内部	評価報告値検証	田中彩	Work Step(株)事業責任者
内部	評価実務実施	大和田徹	Work Step(株)事業管理副責任者
外部	評価アドバイザー	松田美幸	Invitation LLC 変革リーダーシップコーチ & チーム開発ファシリテーター

### A) 事業のアウトカムの進捗状況の評価

#### ① 短期アウトカムの進捗状況

アウトカムで捉える変化の主体	指標	目標値	達成時期	これまでの活動をとおして把握している変化・改善状況
就労希望女性	就労決定者数	100 名	2024 年 3 月末	ママドラフト会議の 2 回の開催を通じて、30 名超の就労決定者が出ている。また、求人メディアを通じての就労決定者が、7 名となっている。今後は個別相談を通じた、オーダーメイドの人材紹介も稼働して目標値に向けて進めていく予定。



#### ③ アウトカムの分析「⑧アウトカムの達成度」(※任意) 未記載

評価小項目	評価小項目の評価結果	評価結果の考察



事業のアウトカムの進捗評価	評価結果の考察
<p>事業のアウトカムの進捗の程度は、事業終了時には</p> <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値を上回っての達成の見込みがある</li><li><input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値の達成の見込みがある</li><li><input checked="" type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値はおおむね達成できる見込みがある</li><li><input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値の達成は不透明である</li><li><input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値の達成は難しい</li></ul> <p>と自己評価する</p>	<p>ママドラフト会議の開催が予定通り進み、特に山口では想定を超えた参加者数となっている。</p> <p>求人メディアについては、企業の掲載基準を独自に設定して、丹念に取材をしており、想定よりも記事の作成に時間・マンパワーがかかっているため、掲載企業の拡大には時間が必要となっている。</p>

## B) 事業の改善状況の評価

### ① 事業の実施過程・事業改善に関する評価

評価項目	評価小項目	評価結果	考察
実施状況の適切性	ユーザー（求職者）が提供サービスを通じて、希望のキャリア・働き方実現につながったか	概ねつながっていることが分かった。	就労決定者を対象としたアンケート及びヒアリングを実施。イベントやメディアを通じて、求職者自身のキャリア意識の啓発及び希望の働き方を実現できる企業・働き方との出会いを通じて、キャリア満足度を高めた方がいらっしゃるということが把握でき、提供サービスが適切であったということが分かった。 ただ、長期のキャリア満足度については未把握なため、今後定期的なフォローをしていく予定である。
実施をとおした活動の改善、知見の共有	ママドラフト会議の開催に関する他団体との連携強化ができたか	連携強化により、活動が拡大された。	連携稼働メンバーへのヒアリングを通じて、これまでの事業ノウハウを連携団体に共有することで、連携先エリアでの女性復職支援が活性化したことが分かった。特に、企業と復職者のマッチングの潜在ニーズが高い地域において、マッチング数を増やすことができた。
組織基盤強化・環境整備	事業推進人材の確保ができたか	人材確保が2名の正社員を確保することができた	求人メディアを新たに立ち上げることをきっかけに、事業推進メンバーとして初の正社員を2名確保することができた。

### ② 短期アウトカムの状態の変化・改善に貢献した要因や事例

・ 求人メディア「福岡じょしごと」の立ち上げ。

初期計画では事業全体の情報を発信する特設サイトを制作する予定だったが、就労希望女性達の欲する多様な働き方を実現できる企業・働き方に特化した情報発信を進めることとし、求人メディア「福岡じょしごと」を開設。結果として、九州・山口エリアで、類似テーマでの求人メディアがないこともあり、ターゲット層がユーザー訪問、応募につながるオンラインの場となった。

・ママドラフト会議の他団体との実施連携

連携団体であるNPO法人あっとは、元来子育て支援を事業領域としていたが、母親支援の一貫として就労支援についても新規に取り組みたいと相談を受け、見学や小規模の連携を行ってきた。本事業を機に、弊社の女性復職支援ノウハウの提供を強化、及びあっとメンバーと弊社メンバーとの定期交流・情報連携も実施することにし、結果として山口でのママドラフト会議は参加企業・女性数共に拡大の傾向にある。

### ③ 事前評価時には想定していなかった成果

上記②でも記載した通り、NPO法人あっととの連携強化による、ママドラフト会議参加企業・女性数の増加。



### ④ 事業計画の改善の必要性の確認

- 社会課題のニーズに事業計画の内容は合致している
- 受益者や事業対象グループのニーズに事業計画の内容は合致している
- 事業計画に記載している活動は、アウトプット⇒アウトカムへのつながりが実際に確認できている
- 残りの期間の資金配分・人員体制・スケジュールは活動を円滑に行えるよう計画されている
- 短期アウトカム指標は、事後評価時に測定し、達成度を評価することが可能な内容になっている



事業の改善状況の評価結果	評価結果の考察
<p>残りの事業期間で、事業が短期アウトカムを達成するために</p> <p><input type="checkbox"/> 事業計画は適切に改善されたといえる</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 事業計画を適切に改善する見込みがある</p> <p><input type="checkbox"/> 事業計画の改善について、課題が残っている</p> <p>と自己評価する</p>	<p>事業進捗で記載した通り、テレワークセンターと連携してのリスク支援の実現可能性が低いことが分かった。しかし、時代の要請としてIT分野でのスキルアップが求められており、代替案を探していたところ、グループであるNPO法人ママワーク研究所を通じて、再就職希望女性向けのITリスク講座についてのIT企業との連携講座提供の提案を受けた。伴走する担当POのアドバイスもあり、既存企画内でのスクールの一環としてのITリスクを選択できるように再設計している。ITユーザーとしてのスキルアップ及びエンジニアの入門、復職を可能にする3つのコースが用意されており、今後の事業展開では未経験からIT分野に就労チャレンジする人材を輩出することも見込まれる。</p>

⑤ 中間評価結果を踏まえて今後注力したいまたは早急に取り組みたい事項をお聞かせください。

中間評価結果を踏まえると、他エリア団体との連携強化で、潜在就労女性の掘り起しが、エリア・数量共に拡大傾向にある。リスクについては、計画変更となったが、新たな企業との連携により、リスク機会を今後提供できることとなった。但し、ソーシャルビジネスとしての収益を確保するためには、求人メディアの売上増加を目指す必要があり、そのためには求人メディア「福岡じょしごと」の掲載企業数の拡大が必要である。そのために、既存事業の業務分担を見直し、専任担当を配属し、企業開拓にマンパワーを注力できるように体制を整備したところである。

添付資料

活動の写真（画像データは1枚2MG以下、3～4枚程度）





▲福岡女子大でのスピーチ後の模様



▲福岡じょしごと・取材風景



▲スピーチ登壇者向け個別キャリア面談 @山口